



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第32号

2019年7月発行

お祝い膳をはじめました

栄養管理科

市立池田病院では、「安全で安心できるお産」をより多くの方に提供するため、「はぐくみ はばたけ 池田Babyプロジェクト」として、さまざまな取り組みを行っています。

入院中のお食事では、お祝いの気持ちを込めて、お祝い膳をお出しすることにしました。出産を終え、慣れない入院生活の中で少しでも安らいだひとときを過ごしていただきたいと思っています。

～MENU～

国産牛のランプステーキ
えびのジェノバ風
サラダ
コンソメスープ
ライス
デザート
ノンカフェインティー



柔らかい赤身肉で味に深みがあるランプ肉を使用したステーキや、色彩をお楽しみいただけるデザートなど、洋食メニューをご用意しております。

お母さんの声

3階北病棟

お祝い膳がはじまり、病棟ではテーブルいっぱいになどお出ししています。また、お菓子の詰め合わせもお渡ししています。兄弟姉妹のおられる方はもちろん、初産婦さんにも大変喜んでいただいています。

お祝い膳を食べていただいたお母さんからの意見です。

- ・たいへん美味しかった。
- ・デザートの種類が多かったので嬉しかった。
- ・ステーキが柔らかかったです。
- ・おなかいっぱいになりました。

皆さまに喜んでいただくために、安心してお産ができる環境を心がけています。市立池田病院でのお産をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



患者さまの権利

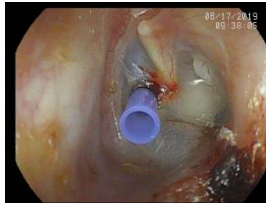
- ・個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・十分な説明を受ける権利があります。
- ・診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

耳鼻いんこう科外来の紹介

当科では、診察をわかりやすくするため積極的に画像を活用しています。また、画像を保存して経過を皆さまにわかりやすく提示しています。



鼓膜チューブ
留置術後



【好酸球性副鼻腔炎】

喘息の合併や匂いがしなくなるなど、治りにくいタイプの副鼻腔炎に好酸球性副鼻腔炎があります。お薬で治らない症例が増えてきており、患者さまに負担の少ない手術を心がけています。

- **ナビゲーションシステム**を用いて、より安全な手術
- 日帰りの手術は自宅での患者さまの負担（鼻血など）が大きい
- **土日を含めた3泊4日の入院**（木曜日午後に入院、金曜日に手術、日曜日に退院）を実現

幼児難聴外来（毎週火曜日午前〔予約制〕）

～こども総活躍のために！～

＜発達に沿った検査＞

新生児～6か月

- AABR（自動聴性脳幹反応）検査
- DPOAE（歪成分耳音響反射）検査
- ABR（聴性脳幹反応）検査
- ASSR（聴性定常反応）検査

6か月～3歳

- COR（条件詮索反応）検査
音がした方を振り向くかどうかの検査
- ABR/ASSR検査

3歳～6歳

- Play Audiometry（遊戯聴力検査）
音がした時にボタンを押すとおもちゃが反応する検査
- ABR/ASSR検査

7歳以上

- 標準純音聴力検査（大人と同じ検査）

心因性難聴（ストレスによる難聴）

- ASSR検査
- DPOAE検査

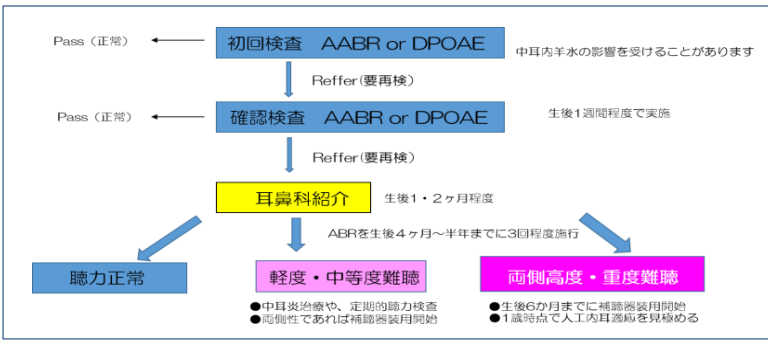
きこえの検査は、年齢や原因によって変える必要があります。当科では全年齢に対応できる最新型の検査機器をそろえています。

ASSR（聴性定常反応）検査は、旧型のものだと2時間かかる場合もありますが、当科の最新型のものでは、30分で施行可能です。また、専属の言語聴覚士がきこえの検査、ことばの検査、リハビリを行います。

乳幼児の聴力検査



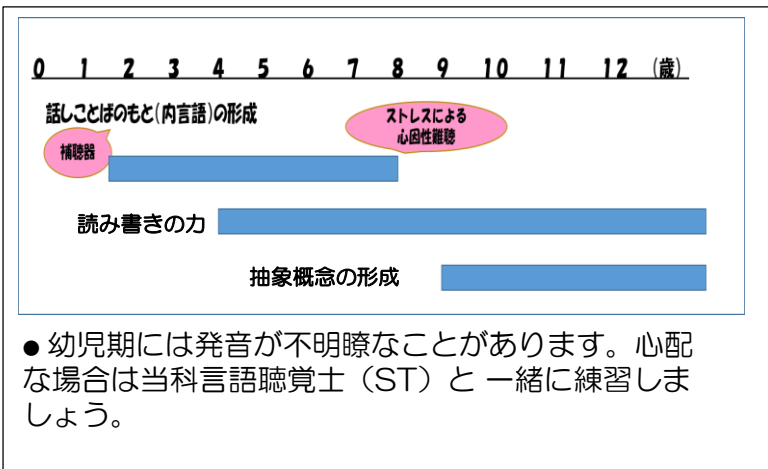
【新生児聴覚スクリーニングとは】



新生児聴覚スクリーニング検査は、難聴を早期に発見し、ことばの発達を促すために行います。

当院での出生児にはほぼ全例に聴覚スクリーニング検査を施行しています。

【ことばの発達と難聴】



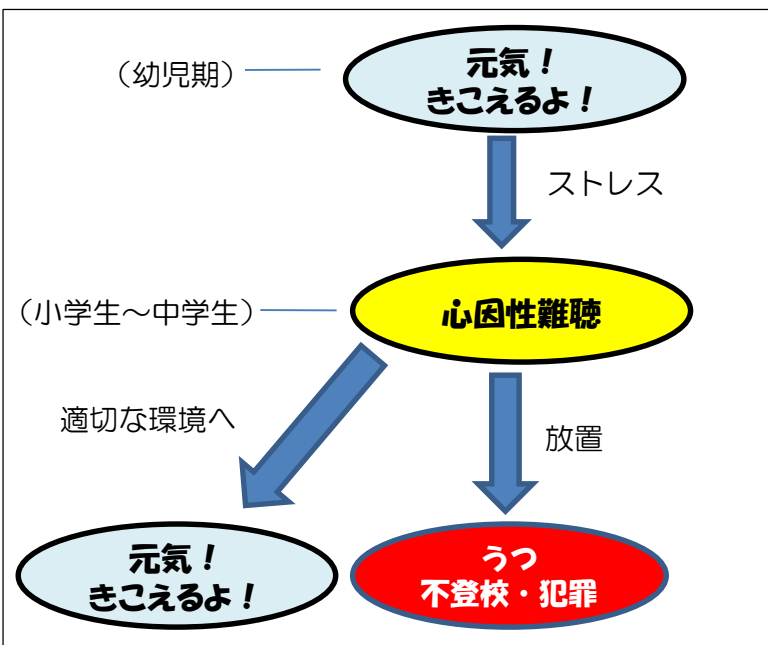
ことばには、発達する順番があります。まずは話しことばのもとになる思考(内言語)をできるだけ早く耳から入れる必要があります。難聴がある場合は補聴器を使って早期に内言語を入れていきます。

高度難聴に対する補聴器助成制度は従来からありましたが、池田市では軽い両側難聴の児童に対する補聴器助成制度も開始されました。

補聴器の作成や療育機関との連携も当科で行えます。

【心因性難聴】

環境の変化やストレスによって、聞こえているけれど自分では聞こえていないと感じる難聴です。



小学生~中学生になるとストレスによる心因性難聴が起こることがあります。放っておくと、自信がなくなり、自分を大切にできなくなったり、頭痛や腹痛が出てきて学校に行けなくなったりする場合があります(2次障害)。

心因性難聴の段階で対処すると、2次障害を防げる場合が多くあることが当科の報告でわかりました。(第118回日本耳鼻咽喉科学会,2017)

当科では、小児科や心理士と一緒にストレス対策に取り組んでいるほか、学校と連携して環境調整を行っています。

担当医師：中川 あや、前川 千絵 / 担当言語聴覚士：中谷 和子



当科は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております(完全予約制)。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談ください。

4階北病棟の紹介

4階北病棟は、耳鼻いんこう科、整形外科、泌尿器科の混合病棟です。
今回は、耳鼻いんこう科の入院についてご説明します。

耳鼻いんこう科は、主に耳、鼻、喉の手術の他、めまいや顔面神経麻痺、突発性難聴などの治療を行っています。



手術翌日は処置室で診察します。



抗生剤の点滴
を行います。

何か分からないこと
や不安なことは
ございませんか？

私たち看護師は、患者さまの状態を観察し、医師と共に患者さまが安心して入院生活を送ることが出来るように、お手伝いさせていただきます。

市民公開講座のご案内

| 開催日 | テーマ | 会場 |
|--------------|--|------------|
| 8/28 (水) | 神経内科主任医員 上原 拓也 先生 13:30~ 「認知症の早期発見と診断について」 | 東館2階 講堂 |
| 9/27 (金) | 腎臓内科主任部長 梶原 信之 先生 13:30~ 「腎臓の病気について(仮)」 | 東館2階 講堂 |
| 10/25 (金) | 呼吸器内科主任医員 清水 裕平 先生 13:30~ 「冬の感染症～インフルエンザの正しい知識と予防法を身につけましょう～」 | 東館2階 講堂 |
| 11月 | 総合内科主任医員 中尾 真一郎 先生 13:30~ 「《ACPとは》自分らしく生きるために～大切な人に伝えたいこと～」 | 東館2階 講堂 |
| 12月 | 耳鼻いんこう科部長 識名 崇 先生 13:30~ 「つらい慢性副鼻腔炎～知って得する最新治療～」 | 東館2階 講堂 |

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会